

表2 裁ち切り寸法

1. 出来上りそで丈+縫いしろ=裁ち切りそで丈
(cm) 2cm (cm)
2. 出来上り身丈+縫いしろ=裁ち切り身丈
(cm) 2cm (cm)
3. 裁ち切り身丈-裁ちおくり下り=裁ち切りおくり丈
(cm) 20cm (cm)
4. (出来上り身丈-えり下+15cm) × 2 = えり丈
(cm) (cm) (cm)
5. かけえり丈=85cm内外
6. 総用布= (cm)
裁ち切りそで丈 (cm) × 4
裁ち切り身丈 (cm) × 4
裁ち切りおくり丈 (cm) × 2

※ () に各自の寸法記入

図2 裁ち方図

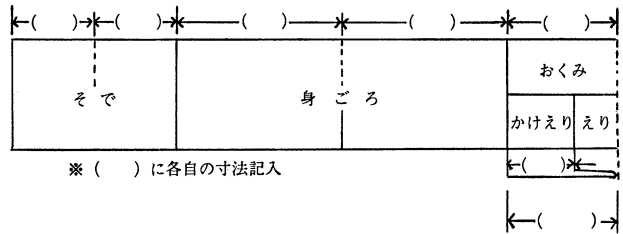


図3 えり肩まわりの型紙

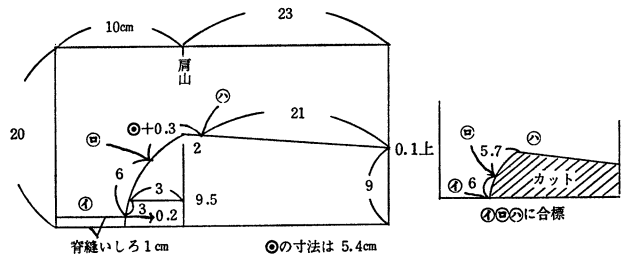


表3 学習到達度別グループの分け方

	実習前	実習後
Aグループ	8人	14人
Bグループ	23	22
Cグループ	10	5

- ※ A、B、Cグループとも間違いを少なくするために家庭学習はさせないようにした。
- ※ 実習前と実習後の生徒の変容は上記のとおりである。

って、能率よく、しかもきれいに出来た。ただ、縫い方においては、個人差があり、進度差が生じやすかったのが今後の課題にしたい。

「先生、黒板で説明されてもわからないから、一人一人おしえて」これが多様化した生徒たちの実態である。わかる授業をするためには、適切な資料を数多く準備し、個人差に応じてより多くの手をさしのべてやること、被服製作の指導には、特にこのことが強く要求される。

「被服は嫌い」と言っていた生徒もいつの間にか、「先生、放課後、おしえて」と、進度のおくれを自らとりも

習熟度別学級構成による

授業へ踏み切るまで

福島県立白河女子高等学校
教諭 鈴木 義夫



どすようになつてきた。こんな時、いいしれぬよるこびと、ファイトが湧いてくる。教師自身のやる気を、生徒に感じさせることも大事なことである。今後も「楽しく製作に取り組める授業」をめざして、努力していきたい。

別学習の必要性

本校で英語を教えてきた今までの経験から、生徒の英語の力は入学時からすでにかなり上下のバラツキがあると感じていたが、実際にどの程度のバラツキがあるかを知り、また習熟度別講座実施の必要性をさぐるために①高校入試②県高校新入生英語学力診断テスト③新入生英語学習課題テスト(中学校で学習した英語復習のためのプリント五枚、計百五十五問を新入生オリエンテーションの際に解答付きで配布し、四月入学早々にテストするもの。本校自作のものであり、過去五年ほど継続している。)の三つのテストの結果を調べた。

これによると、三テストともに大体